

あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 6 日目 (7/20)

今日一日は学校を離れ、一日 Excursion の日です。最初に向かったのはゴールドコーストで人気のビーチ、サーファーズパラダイス。日本では見る事の出来ない白い砂浜と真っ青な空を見たたん、テンションは一気に上がり、海に向かって走って行く生徒が続出しました。最初は靴で歩いていたのが、裸足になり、砂まみれになりながら走り回ったり、貝殻を見つけたりしていました。ビーチから引き揚げて来た生徒を見ると足元が濡れており、泳ぐことはできませんでしたが、冬でも足を付けることができることに驚いていました。その後、ショッピングの時間を取り、数人のグループごとで自由時間としました。オーストラリアは思いのほか物価が高いと感じているようですが、皆さん洋服は気になるようで多くの学生がTシャツやパーカーなどを買っていました。

通常、オーストラリアではバスの中で飲食が禁止なのですが、今日は特別にランチを移動中にバンの中で取っていいとの許可が出ました。他の国の人だとだめだけど、日本人なら大丈夫だろうとドライバーが言うほど、こちらで日本人のマナーがいいことは有名なのです。

午後は The University of Queensland (クイーンズランド大学) に向かいました。約 55,000 人の学生が通い、留学生も約 15,000 人在籍しているオーストラリアの中でも 5 本の指に入る名門校です。総面積は 114 ヘクタール、東京ドーム 24 個分と言う広さですからすべてを見ることはできなかつたのですが、ショップが立ち並ぶエリア、歴史溢れる建物や公園かと間違ふような広い芝生などを、在校生と同じように実際に歩くことができました。ちょうど卒業式の日だったようで、四角い帽子と黒いローブを着た学生とその家族が写真を撮っている場面もよく見かけました。

キャンパス内を少し散策した後、大学内の教室をお借りし、大学の先生から大学の太陽光発電についてのレクチャーを受けました。

まずは大学内の施設でどれだけのエネルギーや資源を消費しているか、と言う内容だったのですが、毎日使用する紙が 1 日 80,000 枚、水がスイミングプール 300 杯分…などスケールの大きい話に唖然としてしまいました。こちらの大学では多くの建物にソーラーパネルが取り付けられ、Global Change Institute という建物では 100%の電力が太陽光で賄われています。クイーンズランド州では再生可能エネルギーの普及率を現在の 4.4%から 2030 年までに 50%に引き上げることを目標にしているそうです。レクチャーを受けた後は、ソーラーパネルを設置している屋上まで連れて行ってくださいました。説明のあった日の光によって稼働するパネルなどを間近で見学でき、また屋上からの素晴らしい風景を見る事も出来ました。最後には先生から暖かいお言葉を頂きました。「皆さんは福島から来たと聞いています。震災の際は大変なご苦労もあったでしょうが、ここに皆さんが来られたことを嬉しく思います。残りの日々もオーストラリアを楽しんでください。」



サーファーズパラダイスにて



クイーンズランド大学内を見学



太陽光発電についてのレクチャー



ソーラーパネルの見学



ソーラーシステム施設にて



クイーンズランド大学にて